Panasonic® 階段通路誘導灯 非常用照明器具 （兼用器具）　**取扱説明書** 保管用

防雨型　品番　JF31850・JF31851　〔電池内蔵〕（ムシベール）

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠警告

●施工は取付方法にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると正しい避難誘導ができないほか、火災・感電・落下の原因となります。

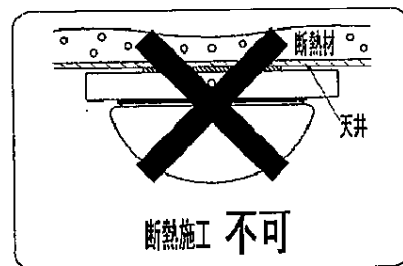
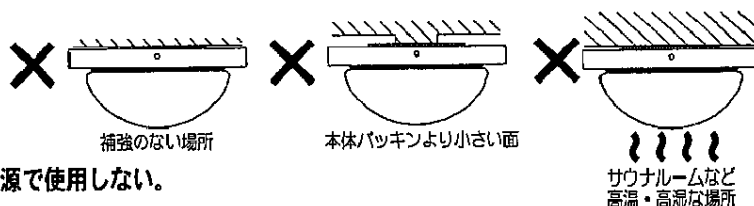
●壁面取付の場合、器具に表示してある方向に取付ける。
また右図のような場所には取付けないでください。
火災・感電・落下の原因となります。

●器具を改造しない。
火災・感電・落下の原因となります。

●表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数以外の電源で使用しない。
火災・感電の原因となります。

●電気設備技術基準にしたがい、必ずD種（第3種）接地工事を行う。
接地が不完全な場合、感電・漏電の原因となります。

●蓄電池を短絡、分解等しない。
火災・感電・破裂・やけどの原因となります。

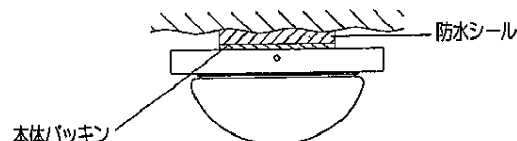
●天井直付対応器具ですが、断熱材・防音材の施工された天井には取付けない。
火災の原因となります。

⚠注意

●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
火災・感電・漏電の原因となります。

●取付面と本体パッキンとのすきまは、必ず防水シールなどで埋めてください。
この器具を天井につけてご使用される場合は、必ず付属の防水パッキンで水抜き穴をふさいでください。
防水が不完全な場合、浸水による火災・感電の原因となります。

●周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。
蓄電池の劣化や火災及び非常点灯しない原因となります。

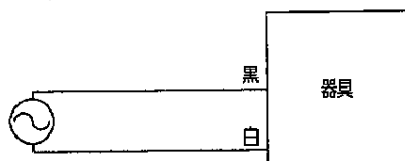
●48時間充電後→非常点灯の確認をしてください。
電池は設置後通電し、充電しないと非常点灯しません。

●この器具は常時、連続点灯して使用してください。
常時消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。
階段通路誘導灯としてご使用の場合は、自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯用信号装置等を用いて消灯してください。

配線種類

・常時消灯しない場合の例（2線式）

・常時消灯する場合の例（3線式）

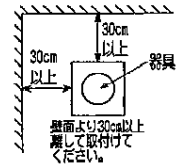
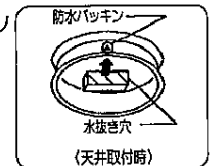
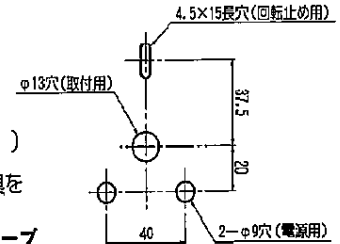
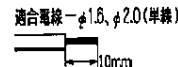
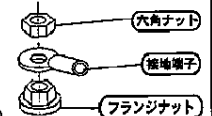
（端子台の赤色短絡線を取外す。）

取説No. JF31850-T1

各部のなまえと取付けかた ⚠ 注意（お調べの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。）

⚠警告
施工は、取扱説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

（別表）

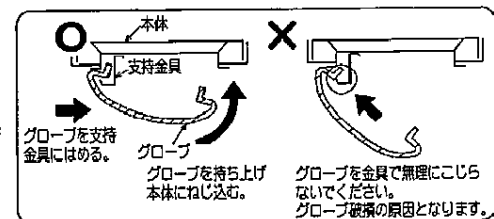
品番	器具質量
JF31850（ガード無）	7.5kg
JF31851（ガード付）	8.0kg

1. 取付前の確認
- 器具質量（別表参照）に十分耐えるよう取付ボルト部の強度を確保してください。
  取付けに不備がありますと落下の原因となります。
  ガード付器具の場合は30cm以上離して取付けてください。（ドライバースペース）

2. 本体の取付け
- 本体を取付ボルトに確実に取付けてください。
  （取付ボルトはW3/8又はM10を使用してください。）
- 回転止めネジ（別途）で器具を固定してください。
  回転止めをされないとグローブが外れなくなります。
- 壁面及び傾斜天井取付の際は支持金具を上向きに、水抜き穴が下になるように取付けてください。
  取付けが不完全な場合、落下・感電の原因となります。
- 天井付の場合は、必ず付属の防水パッキンで水抜き穴をふさいでください。
- 器具取付部分（電源穴、取付穴、回転止用穴）の周囲から水が入らないように必ず**防水シール**などで埋めてください。
  不備があると浸水による感電・火災の原因となります。

3. 電源線、アース線の接続
- 接地端子を利用してD種（第3種）接地工事を行い、電源線を接続し、通電してから蓄電池のコネクタを接続してください。
  接続が不完全な場合、火災の原因となります。

4. カバーの取付け
- 点検スイッチとカバーの切欠きが同じ方向になるようにカバーを本体にかぶせ、ガード無器具の場合はツマミネジで 、ガード付器具の場合は小ネジで左右から取付けてください。
  取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

5. ランプの取付け
- 反射板の丸穴にランプソケットを通してから反射板を取付け 、蛍光ランプにランプソケットを接続し 、ランプ支持バネに蛍光ランプを取付けてください。

6. 充電モニターの点灯確認
- 蛍光ランプが正常に点灯しているか、充電モニター（緑色のランプ）が点灯しているかを確認してください。
  点検スイッチを引き、非常点灯するか確認してください。
  正常に動作しない場合は『故障かな？と思ったときは』の項を参照してください。

7. グローブの取付け
- 充電モニターが点灯しているのを確認してからガラスグローブを両手で時計方向にまわして本体に取付けてください。

8. ガード
- ガードを小ネジにて組み立ててください。
- ガードの取付用穴をツマミネジの取付けに合うようにカバーの穴に差し込み、ツマミネジで取付けてください。
  取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- **器具を改造しない。**火災・感電の原因となります。
- **万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常を感じた時は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。**火災・感電の原因となります。

⚠注意

- **アルカリ系洗剤は使用しないでください。**強度低下による破損の原因となります。
- **蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。**破裂する危険があります。
- **蓄電池は絶対に分解しないでください。**感電・やけどの原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- **蓄電池のショートは絶対にさけてください。**火災・感電・破裂・やけどの原因となります。
- **照明器具には寿命があります**※1**。3～5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。**放置すると、火災の原因となることがあります。

※1　照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し蓄電池は、4～6年です。

使用上のご注意

- **低誘虫の効果は、虫の種類（すう光性の有無）、周囲の環境（付近に明るい光源がない等）によって異なります。**

保証について

- **保証について**
  この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。ランプ・グローランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- **保証書について**
  保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- **補修用性能部品について**
  弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
  補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・部品交換

- **器具の清掃について**・・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
  シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
  変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- **部品の交換について**・・・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
  （パナソニック製蛍光ランプをご使用ください。）

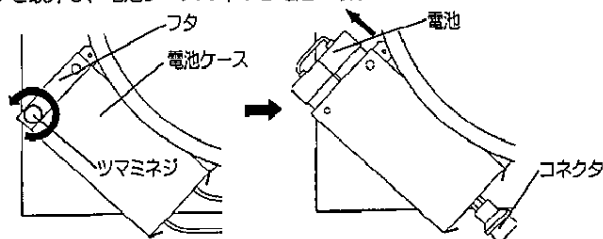
品番	蛍光ランプ	グローランプ	蓄電池
JF31850 JF31851	FCL30ENW/28	FG-1E	FK617 （4.8V　2500mAh）

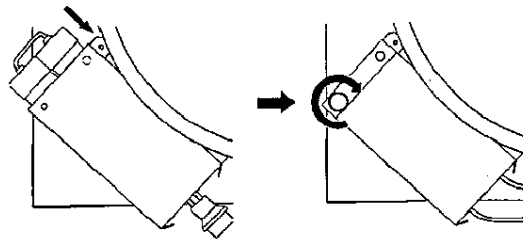
- **蓄電池交換方法**
  蓄電池は、本体の中に入っています。下記の要領で行ってください。

〈ガード付器具（JF31851）〉

1. カバー側面のツマミネジを取外してガードを取外してください。
2. ガラスグローブを両手で反時計方向にまわして本体からガラスグローブを取外してください。
3. 小ネジを取外してからカバーを取外してください。
4. 下の方法にしたがって蓄電池を交換してください。

電池のコネクタを外してから電池ケースのツマミネジを反時計方向にまわしてフタを取外し、電池ケースの中から電池を取り出してください。

新しい電池を電池ケースに収納してから電池のコネクタを接続しフタを電池ケースにツマミネジを時計方向にまわして取付けてください。

5. 小ネジでカバーを取付けてください。
6. ガラスグローブを両手で時計方向にまわして本体に取付けてください。
7. ガード取付用穴が左右になるようにカバーに取付け、左右からツマミネジで取付けてください。

〈ガード無器具（JF31850）〉

1. ガラスグローブを両手で反時計方向にまわして本体からガラスグローブを取外してください。
2. カバー側面のツマミネジを取外してカバーを取外してください。
3. 〈ガード付器具（JF31851）〉と同じ方法で蓄電池を交換してください。
4. ツマミネジでカバーを取付けてください。
5. ガラスグローブを両手で時計方向にまわして本体に取付けてください。

○定期点検　3ヶ月に1回は、破裂、変形などの外観の点検をおすすめします。
6ヶ月に1回は、必ず非常点灯持続時間（30分間以上）、切替動作などの機能点検を合わせておこなってください。
（点検については、消防庁告示第3号および第14号に定められています。）

○設置年月日　年　月　日　　○取付場所　　○器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな？と思ったときは

⚠注意（お調べの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。）

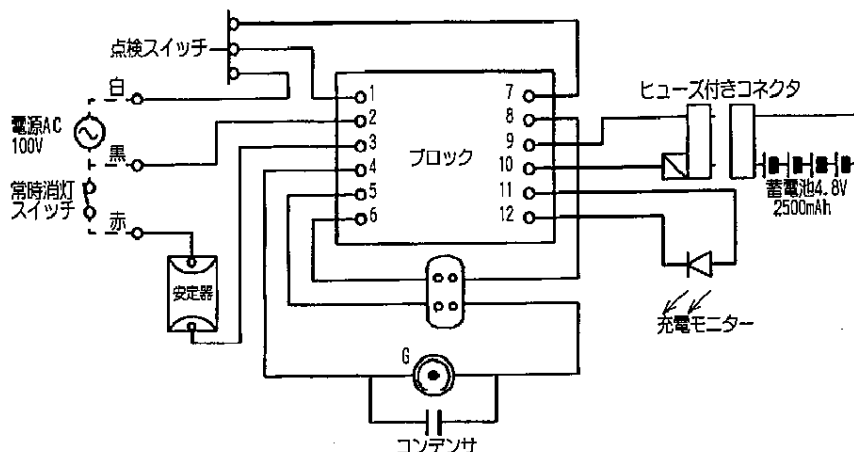
表に従ってお調べいただき、なお異常のある場合は、すぐ電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現　象	考えられる原因	処　置
●常時、蛍光ランプが点灯しない	グローランプの緩み	グローランプを締め直す
	蛍光ランプの寿命	蛍光ランプを交換する
●非常点灯しない	蓄電池コネクタ外れ	コネクタを接続する
短時間しか点灯しない（30分未満）	蓄電池の充電不足（保管時の自然放電や、施工時の放電など）	48時間以上充電する
	蓄電池の寿命	電池交換する
●充電モニターが点灯しない	蓄電池コネクタ外れ	コネクタを接続する

器具定格・接続図

●定格

品番	摘要	起動方法	ランプ	定格電圧	入力電流	入力電力	非常時光束比
JF31850	常時	グロー式	1×FCL30ENW/28	AC100V	0.64A	37W	―――
JF31851	非常時	―――		密閉型Ni-Cd蓄電池 4.8V 2500mAh			40%

●接続図

Ni-Cd　この器具には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な資源です。
ニカド電池の交換、及びご使用済みの電池の破棄に際しては、ニカド電池を取り出しリサイクルにご協力ください。

KE0609-010112

パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365（フリーダイヤル）0120-878-236（FAX）